嗚呼、花の応援団（弁護□ 髙木□太郎）

弁護士髙木□太郎

出身高（熊本県立玉名高校）は、５月下旬の体育祭（応援合戦）が有名でテレビでも取り上げられます。
今年はＴＢＳの土曜８時「ぶっちぎり」で６週にわたり特集されました。

全体を３つの団（赤、蒼、黄色。昔は４つ）に分けて、１，２年生が櫓に整列して座り、団長の演舞に合わせて、学生服（黒）・色タオル３色をあげさげし、１２０パターンもの人文字を描きます。

入学式から３週間。中学を卒業したばかりの田舎の子どもの目の前に、タンラン、ボンタンという出で立ちの３年生の応援団リーダーが現れ、「押忍、押忍」と大声で「気合いを入れ」させられます。
声が小さいと、「こえんこまかあ！（声が小さい）」と怒鳴りつけられ、ちょっと人より間違いが多いと「おまえ、まちがいすぎったい（お前、間違いすぎだぞ）！」と櫓から（ひきずり）おろされ、「個別指導」を受けることに。
そんなことを繰り返し、体育祭当日には、一糸乱れぬ人文字の演技が完成するのです。

体育祭が終わると、３年生は「怖い応援団」の演技を終えます。
１年生は、最初恐怖で凍り付き、次に人文字の完成に向けて集中し、最後はリーダーと共に泣く。特に１年生女子は、途中からリーダー病という病に罹ります。

全体主義を思わせる練習風景ですが、ケンカしたことのない子どもは限度を知らない、なんてことを考えると、いい経験なのかも知れません。